

## 川崎支部便り 第80号 (2024年09月)

オープンで各自が主役：川崎支部

川崎支部支部長 山岸一雄 (執筆：岸野・山岸)

## 人生を豊かに (雑学のすすめ)

## 【忙しい時には地が出る？】

人は、忙しくなると「地 (じ)」が出ます。理性で覆われていたのが、理性を失い、もともとの「地」が出てきます。普段からの良い習慣の積み重ねがとても大切です。普段から誠実に、真摯に物事を対応していることに習慣化している人は、たとえ忙しくても、何か不測の事態が発生しても「地」が誠実で真摯なので、守るべきことは守り、落ち着いて、危険を回避することが出来ます。

普段からきちんとしていない人が、その時だけうまくしのごうとしても、ぎこちなく、取り繕っているように見えて、不自然さを感じさせます。「まあ、このくらいでいいや」と常に中途半端な対応や省略等で済ませている人は、完成品も完璧でない場合が少なくありません。是非、忙しい時こそ、日頃からの積み重ねによる、誠実で真摯な対応が必要です。

(参考：永井秀明氏 消防署長の朝会の言葉 50 選)

## 川崎点描：川崎支部活動拠点

## 【深刻な少子化問題・他人ごとではありません】

## (個人所有のロボット?)

(1967年 経営工学科卒 岸野哲)

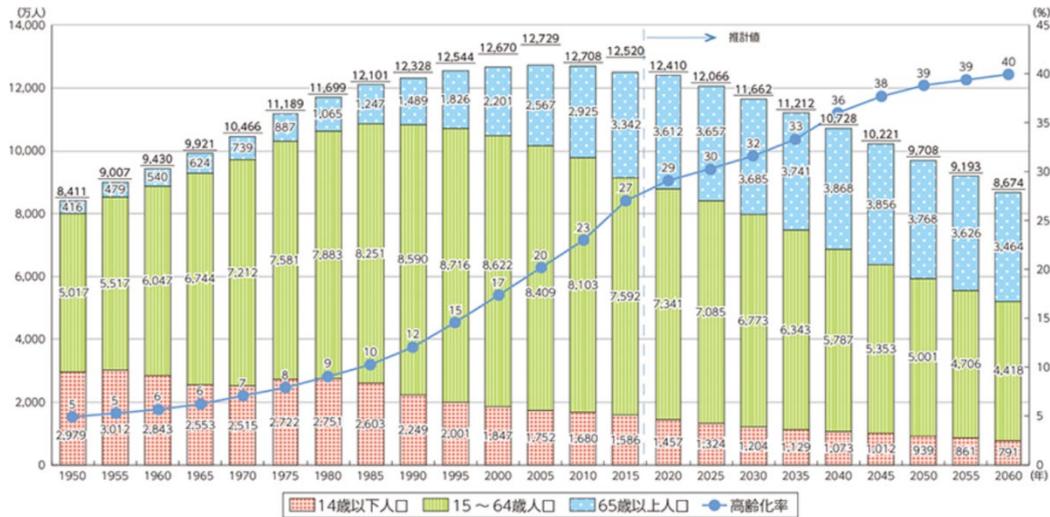
日本の人口が減り続けています。ある程度の減少であれば、インフラやライフラインへの個人負担額が若干増える程度の影響で済ませることが可能でしょうが、人口減の主犯が少子化となると深刻な問題です。

SFの一コマで、ある星について読んだ記憶がありました。そこでは各人が不自由なく生活できるだけ広い土地を所有し、生活に必要な物資や孤独を感じさせないための手段はすべて個人所有のロボットが産出します。したがってその星の適正人口は海を含めた利用可能な表面積を、個人所有の面積で割れば求められます。その星の人は全員が男性であり女性でもある雌雄同体で、いわゆる近所付き合いは全くありません。

どこかで子供が生まれると、その子が成人になるころ誰かが亡くなり、その子が相続することになります。こうして人口が抑制され、星の中での争いは起こりません。その星では生存に必要な最小限の情報が共有され、さらに他の星からの侵入に対する防御システムも備わっていますが、星の存在を隠すことに重点を置いた隠蔽システムで、補完的な防衛システムとなっています。少子化が進んだ究極の状況はこのようなものかもしれませんが、どうしたらこのような状況に移行できるのか全く分かりません。しかもこのような状況で幸せと言えるのでしょうか。

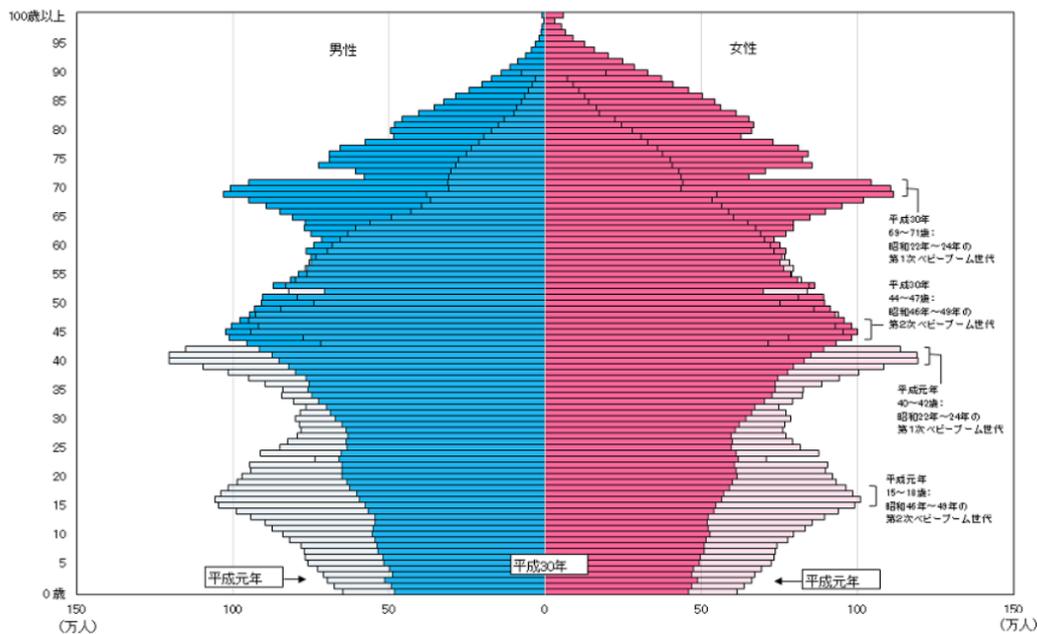
少子化は日本より韓国の方が深刻とのこと。先日韓国の現状についてのレポートを読みました。そこでは女性が妊娠を良しとしない原因の分析や韓国独特の社会問題等を総合的にとらえて、政策への提言が行われていました。日本でも少子化対策として政府が種々手を打ってきていますが、全く効果がないと思います。何故でしょうか。効果の上がない原因や理由は山ほど挙げることができます。

また外国人労働者の受け入れや移民も考えられるでしょうが問題も多く、抜本的な解決とはなりません。



(総務省 平成 28 年版 情報通信白書より)

図3 人口ピラミッド (平成元年及び30年)



注) 各年10月1日現在  
資料: 総務省統計局「人口推計」

(人口の3人に一人が亡くなる? 手遅れ?)

私の結論は次のようになります。

日本の人口の推計を基に、その時点での**社会のモデル**を具体的に示して、どのような社会になるかを**経年で明らかにする努力**をすることです。例えば5年ごとに数年先の状態を**楽観的予測**、**悲観的予測**、**平均的予測**などを発表します。ある意味で脅しになるかもしれませんが、**自分の問題と認識**してもらうためにはぜひ必要なことです。

最後になりますが、現在の人口は約1億2千万人で、災害発生時の避難勧告等のニュースでわかることですが、**1家族の人数は1.5人~2.5人**と言ったところでしょうか。その人口の**3人に一人が亡くなって人口8000万人**なったときの生活を想像してみませんか。**都市への集中**は進むのでしょうか、

食料確保は、老朽化したインフラやライフライン、格差や紛争、他国の脅威等々。手遅れにならないことを願っています。

(画像は Yahoo Japan から引用)

## 支部の活動

- ① 2024年7月5日(金): 「**殿町国際戦略拠点 キングスカイフロント**」見学会(世界最高住準の研究開発都市)は、母校の新聞部学生、一般者、夫婦等多くの方が参加し、普段は入れない建物内、世界で最初の水素をエネルギーとしたホテル等を見学しました。
- ② 2024年10月19日(土): 中間総会は、**世田谷キャンパス 1号館3階の13Q教室**で開催予定。  
中間総会: **13:30~15:00** 講演会: 15:15~16:45 共に13Q教室  
懇親会: 17:00~18:10 カフェソラ(9号館)  
お待ちしております。

## ご存じですか

【東京裁判は起訴状の翻訳に間違いがある?】

誤訳問題が片付き、さあいよいよ審議が始まるかと思われたそのとき、**二の矢**が放たれました。清瀬弁護人が**裁判官忌避(きひ) 動議**という重大な問題を持ち出しました。「裁判長、その前に動議が有ります。裁判官に対する忌避の申し立てです。私は裁判官のそれぞれに忌避を申し立てます」そして清瀬弁護人が**ウェブ裁判長の忌避理由**とは、ウェブ裁判長がニューギニアにおける日本兵の不法行為、つまり**残虐行為や殺人を調査**して、それを**オーストラリア政府に報告**した人物であるというものでした。これはウェブがすでに検事的な立場で日本軍と関わりを持ったことを意味します。したがって、もしも東京裁判が日本を裁くものであるならば、**日本兵を検事の立場から見た人間が裁判官になるのは不適当**ではないか、というわけです。裁判官を忌避することは**被告の権利**です。不適当な人間、特別な利害関係がある人間は忌避してもかまいません。

これによりウェブ裁判長は憤然として**退廷**しましたが、しばしの休廷の後、ニュージーランドの判事がウェブ裁判長に代わって裁判長席につき、再び開廷しました。そして「各判事は**連合軍司令官マッカーサー元帥によって任命**されているため、裁判官の**忌避は許されない**」と告げ、清瀬弁護人のだした忌避動議を退けました。**本当ならば裁判官全員が忌避すべき人間**でした。特に**フィリピンの判事はパターンで日本軍の捕虜**になった人です。こういう人物を裁判官にするのは、誰が見ても**公正ではありません**。(渡辺昇一氏から)

次号もお楽しみに。皆様のご意見・ご感想をお待ちしています。

問合せ・連絡先: 川崎支部 幹事長 松本浩一

TEL: 090-9363-6082 E-mail: [kawa\\_matsu51@v00.itscom.net](mailto:kawa_matsu51@v00.itscom.net)